

令和6年度  
第2回 館林市「日本遺産」推進協議会  
議案書





## 館林市「日本遺産」推進協議会

委員各位

立春の候、委員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本協議会の運営に対しまして多大なるご理解ご指導を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、今年度第2回館林市「日本遺産」推進協議会におきまして、議案審議における時間的制約及び期限内の円滑な協議会運営の観点から、誠に勝手ではございますが、書面での開催とさせていただきます。

なお、書面にて失礼ではございますが、第2回館林市「日本遺産」推進協議会議案につきまして、簡単にご説明させていただきます。

まず、議案第1号につきまして、文化庁日本遺産制度では、令和3年度より認定6年経過後に地域活性化の度合いを測り、認定継続の可否を審査する『総括評価・継続審査制度』が導入されております。館林市においては、令和7年度に総括評価・継続審査が予定されており、過去6年間の事業実績及び今後3年間の日本遺産「里沼」を活かした地域活性化計画(第2期日本遺産「里沼」地域活性化計画)の審査を受けることになっております。審査にあたり、事務局にてそれぞれ提出案を作成いたしましたので、委員のみなさまから記載内容等のご指導をいただきますようお願い申し上げます。『総括評価・継続審査制度』における今後のスケジュールといたしましては、3月上旬までに文化庁へ書類提出後、5月から6月のいずれかの日程で委員による現地視察を経て、7月下旬に結果公表の運びとなる予定でございます。認定継続に向け、各種手続きを鋭意進めてまいりますので、引続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

次に、議案第2号につきまして、『館林市「日本遺産」推進協議会組織体制の検討について』を議題としております。館林市「日本遺産」推進協議会組織については、任期を3年間と定めており、令和4年6月に選出された委員のみなさまは、令和7年6月をもって任期満了となるため、現行の枠組みの継続可否についてご検討いただきますようお願い申し上げます。引続き盤石な体制で日本遺産「里沼」事業を推進していきたいと存じます。

議案第3号並びに第4号につきまして、令和7年度館林市「日本遺産」推進協議会における事業内容及び予算となりますが、第1期日本遺産「里沼」地域活性化計画期間が終了し、令和7年度より、第2期日本遺産「里沼」地域活性化計画が始動いたします。第2期計画では、文化庁にて定められた7つの分野【(1)組織整備・(2)戦略立案・(3)人材育成・(4)整備・(5)観光事業化・(6)普及啓発・(7)情報編集・発信】にわたる事業を実施いたします。第1期日本遺産「里沼」地域活性化計画にて構築した素地をベースに、次期計画においては、「里沼」に関わる人と人の輪をより一層拡大し、それぞれの活動が今まで以上に相乗効果を生みながら波及することで、今の時代を生きる我々自身で現代版「里沼」を体現できるよう事業を展開してまいります。

最後に、日本遺産認定から現在まで、多くの方々からの協力を得ながら、多分野にわたる事業を実施してまいりました。日本遺産「里沼」認定継続はもとより、私自身が一層リーダーシップを発揮し、第2期日本遺産「里沼」地域活性化の更なる強化を図りながら、引続き地域の宝「里沼」を活かしたまちづくりを推進してまいりますので、今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、今後皆様の益々のご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

令和7年3月吉日

館林市「日本遺産」推進協議会

会長 多田 善洋

## 令和6年度第2回館林市「日本遺産」推進協議会議案について

このことについて、下記のとおり事務局案を上程いたしますので、ご審議の程、よろしくお願  
いいたします。

### 記

#### 1 議案第1号 日本遺産総括評価・継続審査提出書類について 【P.3】

日本遺産総括評価・継続審査制度において、認定後6年間の事業実績報告(総括評価)・次期  
3年間の事業計画(継続審査)に関する書類を文化庁へ提出する必要があります。

提出書類は大きく2つに分かれており、1つ目は、日本遺産を通じた地域活性化計画実績報  
告書として、第1期日本遺産「里沼」地域活性化計画における認定後6年間の事業進捗及び実績  
を報告いたします。2つ目は、第2期日本遺産「里沼」地域活性化計画として、今後3年間の日  
本遺産「里沼」事業の目指すべき方向性をお示しいたします。

最終版の書類提出前に文化庁への事前相談が必須であり、事前相談のタイミングに合わせ、  
同時並行で委員のみなさまにも書類記載内容をご審議いただくものです。

#### 2 議案第2号 館林市「日本遺産」推進協議会組織の検討について 【P.4】

館林市「日本遺産」推進協議会組織については、構成員の任期を3年間と定めております。  
令和4年6月に選出された現構成員は、今年6月をもって任期満了となるため、改選期前に現構  
成員に対し、引続き現行の枠組みの可否について確認するものであります。

#### 3 議案第3号 令和7年度事業計画(案)について 【P.5～9】

第1期日本遺産「里沼」地域活性化計画期間が終了し、令和7年度より、第2期日本遺産「里  
沼」地域活性化計画が始動いたします。第2期計画では、文化庁にて定められた7つの分野  
【(1)組織整備・(2)戦略立案・(3)人材育成・(4)整備・(5)観光事業化・(6)普及啓発・(7)情報編集・  
発信】に関する事業を実施いたします。

事業の詳細は、令和7年度事業概要(事業費の内訳)のとおりです。

また、毎年出展している日本遺産フェスティバルや文化庁主催の日本遺産の日イベントにも  
継続して参加するとともに、引続き民間活動者にもご協力いただきながら一体となって日本遺  
産「里沼」事業を推進してまいります。

#### 4 議案第4号 令和7年度収支予算(案)について 【P.10】

議案第3号の事業計画(案)に基づき、令和7年度収支予算を総額14,001千円で編成してい  
ます。

収入の部のうち、補助金については、市補助金として14,000千円を計上しております。

支出の部は、事業費14,000千円を計上し、その内訳については、令和7年度事業概要(事業  
費の内訳)のとおりです。事務費1,000千円については、推進協議会会議経費、日本遺産連盟  
負担金等に係る費用を計上しています。

なお、市補助金につきまして、令和5年度～令和7年度の3か年は信金中央金庫からの寄附  
金(総額1,000万円)が充当される予定であります。

日本遺産総括評価・継続審査提出書類について

このことについて、ご確認及びご朱入れいただきますようお願いいたします。

1 提出書類

**【日本遺産を通じた地域活性化計画実績報告書】**

**※第1期日本遺産「里沼」地域活性化計画(6カ年計画)における進捗・実績報告)**

- ・ 様式1-1 (I.計画目標の達成に対する評価)
- ・ 様式1-2 (II.取組内容に関する評価)
- ・ 様式1-3 (別添参考資料①(事業実績))
- ・ 様式1-4 (別添参考資料②(推進体制))
- ・ 様式1-5 (別添参考資料③(観光関係者の視点))
- ・ 様式1-6 (別添参考資料④(取組))
- ・ 参考資料

**【日本遺産を通じた地域活性化計画】**

**※第2期日本遺産「里沼」地域活性化計画(3カ年計画)**

- ・ 様式2 (日本遺産を通じた地域活性化計画)

2 今後のスケジュール

① 提出前相談期間：令和7年2月3日(月)から2月21日(金) 17:00まで

※提出前相談は必須事項

② 書類提出期間：令和7年2月25日(火)から3月7日(金)まで

③ 文化庁及び日本遺産総括評価・継続審査委員会による現地視察：令和7年5月から6月頃

④ 審査結果公表：令和7年7月下旬頃

3 その他事項

今回ご確認いただいている資料は、提出前相談時点の内容となります。本議案にて委員のみなさまによるご確認及びご朱入れや提出前相談での文化庁からのご指摘を踏まえ、内容を練りあげ、最終版書類として期間内に文化庁へ提出いたします。

提出後、文化庁及び日本遺産総括評価・継続審査委員会による書類審査及び現地調査を経て、令和7年7月下旬頃に審査結果公表となります。

## 議案第2号

### 館林市「日本遺産」推進協議会組織の検討について

このことについて、下記のとおりご検討いただきますようお願いいたします。

#### 1 検討事項

規約第4条第2項において構成員の任期を3年と定めており、今年6月の改選期を前に協議会を構成する個人及び団体・組織について検討するもの。

#### 2 詳細

規約において、協議会の構成員（個人及び団体・組織等）の任期を3年と定めており、現構成員に対し、引続き現行の枠組みで良いかどうかを確認するもの。

#### 3 その他事項

館林市「日本遺産」推進協議会は、令和元年6月27日に発足し、令和4年6月26日に改選したため、現構成員は令和7年6月26日に任期満了。

## 令和7年度事業計画（案）について

期日	事業内容	備考
4月1日 ～3月31日	各事業実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織整備事業</li> <li>・戦略立案事業</li> <li>・人材育成事業</li> <li>・整備事業</li> <li>・観光事業化事業</li> <li>・普及啓発事業</li> <li>・情報編集・発信事業</li> </ul> 「里沼」講座・ワークショップ実施(民間活動者と連携) 各種イベント等によるPRブース出展	別紙「令和7年度事業概要（事業費の内訳）」のとおり
5月～6月	◆現地視察(令和7年度日本遺産総括評価・継続審査)	
6月	第1回館林市「日本遺産」推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度事業報告について</li> <li>・令和6年度収支決算報告について</li> </ul>	館林市文化会館
7月	★審査結果公表(令和7年度日本遺産総括評価・継続審査)	
10月	日本遺産フェスティバルin倉敷 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PRブース出展及びワークショップ</li> </ul>	岡山県倉敷市
2月	日本遺産の日イベント2026 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR及び物販ブース出展</li> </ul> 日本遺産「里沼」認定継続記念セミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼を活かしたまちづくりを担うプレイヤー育成のための講座開催</li> </ul> 両毛3市日本遺産シンポジウム	京都府京都市  館林市文化会館  足利市
3月	第2回館林市「日本遺産」推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度事業計画（案）について</li> <li>・令和8年度収支予算（案）について</li> </ul>	書面による開催

## 令和7年度 事業概要（事業費の内訳）

### ■事務局 1,000 千円

#### (1) 館林市「日本遺産」推進協議会運営事業【組織整備事業：文化振興課】

[概要] 1,000 千円

館林市「日本遺産」推進協議会(日本遺産「里沼」事業実施主体)運営や日本遺産フェスティバルや日本遺産の日イベント等においてPRブースを出展し、「里沼」事業の推進を図る。

### ■歴史文化部会 9,300 千円

#### (1) 日本遺産「里沼」重点ビジョン推進事業【戦略立案事業：文化振興課】

[概要] 1,000 千円

上位計画(館林市第6次総合計画)や関連する計画(館林市文化財保存活用地域計画や館林市つつじが岡公園再整備基本計画(サイクリングターミナル再整備))とリンクしながら、第2期地域活性化計画における重点ビジョン(目標)達成に向け実施、推進していく事業。教育委員会部局(シビックプライドウイング)に留まらず、経済部局(ブランディングウイング)にも精通するアドバイザーを招聘し、両翼でより効果的な事業を展開していく。

#### (2) 日本遺産「里沼」ランドナビゲーター活動支援事業【人材育成事業：文化振興課】

[概要] 500 千円

日本遺産認定後、既存ガイド団体等と連携し、日本遺産「里沼」の魅力を発信しながら館林市内観光を総合的にプロデュースする人材として育成してきたランドナビゲーターの活動を支援する事業。過去に蓄積してきたガイドノウハウやナビゲートコース等のブラッシュアップを図りつつ、新たな人材の確保・育成を行うことで、持続的な体系の構築に取り組む。また、インバウンド来訪者へのナビゲートを想定し、インバウンド来訪者を多く見込む首都圏での実践を積み、「里沼」への誘導及び現地ナビゲートへ繋げる。

#### (3) 日本遺産「里沼」地域プロデューサー活動支援事業【人材育成事業：文化振興課】

[概要] 1,000 千円

館林市「日本遺産」地域プロデューサーの活動を支援し、情報発信・地域活性化・人材育成・観光・地場産業・歴史文化・地域特色(里沼)における分野の事業展開を促進する。第2期地域活性化計画に基づき、令和7年度以降各分野での事業展開を図りながら、地域住民がより一層、館林市「日本遺産」各事業に参画しやすい環境を整える。

[歴史価値創造グループ]

大学等と連携し、学生による日本遺産「里沼」を取り巻く社会(環境)の課題解決に向けた現地調査を行う。

[歴史文化継承グループ]

「里沼」ランドナビゲーター・地元ケーブルテレビによる、日本遺産「里沼」ストーリーを構成する全42の構成文化財の解説動画撮影及びYouTubeでのアーカイブ配信を行う。

[「里沼」資源活用グループ]

「里沼」産素材を活用した商品開発やワークショッププログラムの検討を行う。

**(4) 官学連携「SATO-NUMA」事業【人材育成事業：文化振興課】**

[概要]

**500 千円**

地元高校・大学(学生・留学生)と連携し、若者・外国人の意見を反映させながら、解説方法・内容を学生目線で検討する事業。当該事業には、地元ガイド団体・活動者等も参画し、館林市「里沼」の魅力伝える若い世代の人材の充実を図る。

茂林寺沼湿原保護保全のための大泉高校や関東学園大学との連携（「ヨシストロー」や「里沼きくらげ」等の作製・栽培支援、関連商品開発協力、学生たちによる茂林寺沼湿原保護保全のための現地作業の支援を行う。また、これまでの活動実績をまとめたパンフレットを学生たちと作成し、校内をはじめ近隣施設(小・中学校含む)等で配布することで、新たな人材の確保に繋げる。

**(5) 日本遺産「里沼」案内板・サイン整備改修事業【整備事業：文化振興課】**

[概要]

**1,000 千円**

来訪者の多いつつじが岡公園をはじめとする「里沼」全エリア(市全域)において、「里沼」ストーリー案内サインを整備する事業。

現行のサインに加え、音声ガイド(多言語化含む)付きの解説サインへのバージョンアップし、よりストレスフリーな環境整備を行う。

解説サインと合わせて、ARやメタバース空間とのリンクを見込んだ整備の検討も進める。

**(6) まちじゅう日本遺産「里沼」PR事業【整備事業：文化振興課】**

[概要]

**1,300 千円**

令和7年度の総括評価・継続審査による、日本遺産「里沼」認定継続に合わせ、「館林市まちじゅう『日本遺産』PR大作戦」を充実させるべく、市内商店街・大型商業店舗及び民間事業者等へ認定継続記念幟旗やタペストリー・ステッカーなどを再配し、地域全体で日本遺産「里沼」をPR・事業継続していく一体感を醸成する。公式WebサイトやX(旧Twitter)ともリンクすることで、新規来訪者に対しても、リアルタイムでの情報提供に繋げる。「里沼」イラストマップクリアファイルを作製し、市内小中学校における総合学習や出前講座で配付することで、日本遺産「里沼」がより一層、身近な存在になるよう普及していく。

**(7) AR「里沼」利用環境充実事業【整備事業：文化振興課】**

[概要]

**1,200 千円**

各沼の拠点施設に設置したWi-Fi環境を維持するとともに、日本遺産「里沼」ストーリー情報を手軽に入手するツールとして導入したARコンテンツの内容をより充実させ、「里沼」ストーリーの理解促進を図る。また、現地ARでしか見せることのできないコンテンツ、ARアプリ機能だからこそ価値のあるコンテンツ構築に重点を置き、利用者満足度向上及び各沼の周遊性を高めるコンテンツの充実を図る。各種サインやSNSと紐づけた事業展開により、クロスメディアのような複数の切り口からコンテンツに誘導できるような仕組みを構築する。

**(8) 日本遺産「里沼」展示会開催事業【普及啓発事業：文化振興課】**

[概要]

**1,000 千円**

日本遺産「里沼」認定継続に合わせ、各沼周辺で整備を進める日本遺産「里沼」サテライト会場において認定継続記念展示会を開催する。また、近隣・首都圏でのPR展示会開催[浅草駅、スカイツリー等]や館林市内巡回展[学校・公民館等公共施設]も引続き実施し、日本遺産「里沼」の普及啓発による知名度向上・ストーリー浸透の強化を図る。

一般来客を多く見込む文化会館の市民サロンや観光拠点「里沼」リゾートHotel KOMORINUを中心にパネル展を行い、「里沼」の普及啓発に努める。

**(9) 日本遺産「里沼」シンポジウム開催事業【普及啓発事業：文化振興課】**

[概要]

**800 千円**

近隣認定自治体やストーリーに関連のある自治体と連携して令和元年度に「日本遺産」シンポジウム、令和2年度以降、毎年両毛3市(桐生市・足利市・館林市)による日本遺産認定地連携シンポジウムを実施している。令和7年度は、足利市をホスト市として両毛3市日本遺産シンポジウムを開催予定。また、館林市としては、日本遺産認定継続記念シンポジウムを開催し、「里沼」を活かしたまちづくりを担うプレイヤーによるこれまでの取組みの事例紹介、今後の展望に関するディスカッションを行う。

**(10) 日本遺産「里沼」公式Webサイト運営事業【情報編集・発信事業：文化振興課】**

[概要]

**1,000 千円**

館林市「日本遺産」Webサイト(SATO-NUMA.JP)を随時管理し、ストーリーや構成文化財の諸情報のほか、観光やアクセスマップ及び利便施設などの最新情報を公開し、国内外に向けての積極的なPRを行う事業。単なるサイト運営に留まらず、動画配信や多言語対応化、インタラクティブ(小ネタ投稿など相互関係によるページ構築)に重点を置くもの。特に来訪予定者の「旅マエ」での事前期待や動機付けの増大を目的とし、SNSとリンクしたサイトの整備を進める。また外国人来訪者のターゲット層を絞り込みながら、欧州「EUROPEAN ROUTE INDUSTRIAL HERITAGE」、日本遺産認定地におけるメタバース空間の活用等を参考に、仮想空間の整備や素材集約にも着手する。さらに情報発信が弱い民間事業者なども取り込み・支援するかたちで館林市「里沼」の情報を一括発信できるサイトの構築を目指す。

現在までに、Webサイト上にオンラインコミュニティページ「わたしの里沼」を設け、「里沼」事業に関するユニークなアイデアの募集や蘊蓄の蓄積を行い、継続していくことで、「里沼」愛好者増加へも繋げる。今後は、過去に積み上げてきた内容を継続・発展させ、各コンテンツの強化や画像・動画更新、取材記事導入による旅マエ誘客の充実、リピート増加のための旅アトコミュニケーションツールや、オンラインコミュニティページの更新等を行い、「里沼」への親近感や事業への参加意識・主体性の向上に繋げる。同時に、より実態に近い言語の多言語化対応をすることで、地域住民や近隣住民への「里沼」周知及び誘客を図る。

**(1) たてばやし「里沼」グルメブランディング事業【観光事業化事業：商工課】**

[概要]

1,500 千円

日本遺産「里沼」構成文化財のひとつ「川魚料理(川魚食文化)」や「館林のうどん(麦食文化)」にスポットを当て、食を通じた日本遺産「里沼」ブランドの向上を図る。

市内小・中学校においては、邑楽館林産の小麦である「百年小麦」生産体験など、食育事業として「里沼」の味覚や「地産地消」の重要性を学ぶ。

【主なグルメブランディング例】

・百年小麦販売促進事業、百年小麦生産体験事業、百年小麦うどん食育事業

**(2) 「里沼」旅行商品造成支援事業【観光事業化事業：つつじのまち観光課】**

[概要]

300 千円

日本遺産「里沼」における旅行観光ツアーを企画する旅行業者(宿泊業)に対し、商品造成のための支援を行う。

日本遺産事業においては、現地での体験活動(コト消費)メニューの充実や外国人旅行者(インバウンド来訪者)へのもてなし環境整備も重要視されており、旅行商品造成をはじめとする「里沼」来訪者(特に宿泊者)がダイレクトで満足感を得られるようなコンテンツの構築及び拡充を図る。

**(3) 「里沼」体感！コンテンツ開催事業【観光事業化事業：つつじのまち観光課】**

[概要]

500 千円

「里沼」旅行商品造成支援事業と連動して、日本遺産「里沼」を生かした新たな体験コンテンツ事業を実施する。「里沼」体感！ワークショップ事業における過去の実績データによるニーズを踏まえ、「里沼」ならではの、「里沼」だからこそ味わう価値のあるコンテンツを提供する。

実施時期やコンテンツ選定など、来訪者満足度を高めるメニューをパッケージ化し、リピーター獲得にも重点を置いた事業を展開していく。

**(4) 日本遺産「里沼」パンフレット作成・多言語化事業【情報編集・発信事業：つつじのまち観光課】**

[概要]

1,400 千円

日本遺産「里沼」地域プロデューサー活動支援事業や官学連携「SATO-NUMA」事業にて構築した実績をパンフレット化することで、日本遺産「里沼」事業の取組みの認知度向上を図る。特に、市内在住イラストレーターによるイラストマップをベースにエリアごとに関連する「里沼」構成文化財を記載したパンフレットを作成することで回遊性及び来訪者満足度上昇が期待できる。

また、過去に日本遺産推進協議会事業にて作成した各種パンフレットの増刷(特にニーズの高いものを優先)等を行い、「里沼」周遊満足度の向上に繋げる。

多言語化対応については、第2期地域活性化計画に基づき、Webサイト同様、より実態に近い言語の多言語化対応をすることで、地域住民や近隣住民の「里沼」観光誘客を促進する。

議案第4号

令和7年度収支予算(案)について

【収入の部】

(単位：千円)

科目	本年度当初 予算額(A)	前年度当初 予算額(B)	比較増減額 (A)-(B)	備考
補助金	14,000	13,000	1,000	
国庫支出金	0	0	0	
市補助金	14,000	13,000	1,000	一部中央信用金庫からの寄附金充当
貸付金	0	0	0	
雑入	1	1	0	預金利子等
合計	14,001	13,001	1,000	

【支出の部】

(単位：千円)

科目	本年度当初 予算額(E)	前年度当初 予算額(F)	比較増減額 (E)-(F)	備考
事業費	13,000	12,000	1,000	別紙「令和7年度事業概要(事業費の内訳)」のとおり
戦略立案事業	1,000	0	1,000	
人材育成事業	2,000	2,000	0	
整備事業	3,500	4,500	△1,000	
観光事業化事業	2,300	0	2,300	
普及啓発事業	1,800	2,300	△500	
情報編集・発信事業	2,400	3,200	△800	
事務費	1,000	1,000	0	
組織整備事業	1,000	1,000	0	報償費、旅費、通信費等
貸付金返還費	0	0	0	市貸付金返還
予備費	1	1	0	
合計	14,001	13,001	1,000	



館 林 の 里 沼

SATO-NUMA.JP

館林市「日本遺産」推進協議会

